

広報 長岡京

NAGAOKAKYO

2012

3/15

No.1059



助け合うために必要なことは.....

災害時に地域で助け合う「共助」について学ぼうと、自治会長会と市が防災研修を開きました。自治会や自主防災会の会長、市職員ら約60人が参加しました。「地域でできること」や「市に期待すること」をテーマにしたワークショップでは、「自治会でも備蓄用品を確保しよう」「市は災害への備えについてわかりやすい広報を」などと真剣な表情で意見を出し合いました。

(2月16日、市役所で)

●●● 主な内容 ●●●

情報ワイド②～④

西山の取り組みで「低炭素村」に出場
環境アンケートの報告
国民健康保険のお知らせ／表彰
地域子育て支援センター など

情報BOX⑤～⑦

《7ページから始まります》

長岡京歴史散歩⑧

◎シリーズ 長岡京歴史ゆ散歩

215

「殿」墨書土器

↳長岡第七小学校校区の歴史↳

墨書土器は、土師器、須恵器の椀や皿といった小さな食器の底外側に文字が墨書きされたものです。文字は1字や2字であることが多く、木簡のように文書形式を取ることもないため、今となってはその文字が示していた内容を正確に読み取ることが困難です。

今から26年前、昭和61年に野添一丁目で行った発掘調査では、長岡京の四条条間北小路南側溝、右京四条二坊七町の掘立柱建物などが見つかり、側溝内や柱穴から「殿」と記された墨書土器が多数出土しました。残念ながら「殿」が七町にあった屋敷の主人を指すのか、その他の意味があるのかは分かりません。しかし、屋敷内で働いていた人の多くが、共通して理解できる文字であったと考えられます。(財)長岡京市埋蔵文化財センター

広報担当一同のポツリ…ついに年度末。3月から4月にかけては、出会いと別れ、そして変化の季節です。卒業・入社・異動など、春から様々な変化がある人も多いのでは。実は、15日号の締めを担ってきたこの編集後記「ポツリ」は、今

回で最終回です。今までありがとうございました。そして来年度も『広報長岡京』と、広報担当をよろしく願いいたします。(^o^) /

by オリーブ、チーズ、ハム、マッシュ